

国文	<p>日本の神話って何？－「神話伝承論」はじめの一步－</p> <p>「イザナキ・イザナミ」「ヤマタノヲロチ」、、、キャラクターの名前はわかるけれど、「神話」を読む機会は少ないと思います。私の体験講義では、日本の「神話」ってそもそも何からはじめ、「神」や「妖怪」って何か。奈良大学で何が学べるのかをご紹介します。</p>
国文	<p>『雨月物語』『浅茅が宿』を読む</p> <p>思い込みの強い夫勝四郎(かつしろう)と貞淑な妻宮木(みやぎ)－上田秋成の怪異小説『雨月物語(うげつものがたり)』の一篇「浅茅が宿(あさじがやど)」は、夫婦の行き違いによる悲劇をテーマとした物語です。勝四郎と宮木それぞれの視点で語られているのが特徴で、行き違いの生じた原因が丁寧に描かれています。また、『源氏物語』や『今昔物語集』といった古典作品の世界を背景としていることも知られています。今回の体験講義では、「浅茅が宿」をめぐる数々の謎を、みなさんとともに読み解きます。</p>
史学	<p>江戸時代の古文書に触れる</p> <p>大学史学科で歴史を学ぶことは知識を増やすだけではありません。むしろ原物の史料の取り扱いのテクニックをみにつけることのほうが重要です。体験講義では、その一端を江戸時代の古文書に触れながら、体験してもらいます。</p>
地理	<p>作り出された大和・奈良の名所</p> <p>名所は、時勢を背景に紹介されています。かつては1枚の紙、冊子、いまであれば、インターネット上の情報が主流でしょう。奈良では「鹿」「大仏様」が代表格でしょう。絵図や名所案内の冊子をひもときながら、かつての名所を探っていきましょう。</p>
地理	<p>伊能忠敬、2度目の奈良－210年前の足跡は・・・</p> <p>伊能忠敬は、奈良に2度訪れている。1度目は、「大和路測量」として奈良盆地を中心に実測した文化5(1808)年でした。それは第6次測量で四国からの江戸へ戻る途中のことでした。2度目は第8次測量時で九州から江戸へ戻る途中のことでした。今からちょうど210年前のことです。測量成果として残される地図ではわからない伊能忠敬の行動を解き明かします。</p>
文化財	<p>科学の目で江戸時代の板絵にせまる</p> <p>文化財の調査に科学の目を用いると、肉眼ではわからない情報が引き出せる場合があります。学生たちと調査を進めている江戸時代に建てられたお堂の中の天井板絵の調査でわかったことを紹介しながら、これからの展望についてお話しします。</p>
心理	<p>赤ちゃんはなぜかわいいのか？</p> <p>赤ちゃんはなぜかわいいのか？赤ちゃんはなぜいい匂いがするのか？そこには赤ちゃんが無事に成長し、ヒトが地球上に生存し繁栄し続けるための深い意味があります。他にも、リンゴはなぜ甘いのか？ヒトはなぜ恋をするのか？講義では進化の過程で獲得した認知様式の適応的な意味について考えます。</p>
総合社会	<p>奈良の大仏さん、つぶすか残すか－ひとりひとりが選択する文化－</p> <p>文化財は大切にしなければならない。確かにそうですね。でもなぜなのでしょう。文化財だから大切なのか、大切だから文化財なのか。「大切」ってどういうこと？この授業では文化と文化財の関係を「普通の人々」が過ごす日常の観点から考えます。</p>

国文

古典文学の世界へようこそ

奈良大学国文学科では、神話の時代から江戸時代まで、古典分野を全時代的に学べ、興味関心にあわせて研究テーマを選ぶことができます。本展示は、古典文学の授業を担当する教員の私物を展示します。「古典」を学ぶ楽しさを、体感していただければと思います。

史学

実物の史料に接しよう！

伊達政宗の手紙、古代の木簡、江戸時代の古文書、エジプトのパピルス、ロシアのイコン、歴代中国の貨幣などなど、史学科が所蔵する実物の史料に接して、歴史の面白さと深さを「体感」しよう！

地理

地理学の魅力

地理学は非常に間口の広い学問と言われます。この地理学の具体的なイメージを持っていただくために、各種地理資料を提示いたします。具体的には、自然、環境、都市、農村、歴史、交通、観光、情報などの各領域の資料を展示します。

文化財

仏像や屏風・絵巻物に触れてみよう！

普段なかなか触る機会のない仏像や屏風、絵巻物。大学ではさまざまな機会を実物を取り扱います。実際に手に取って見て、文化財の取り扱いを学んでみましょう。

心理

探検しよう！心理学の世界

心理学の実験や実習で使用する機器を展示しており、実際に心理学実験や心理テストを体験することができます。心理学科の教員や学生もおりますので、奈良大の心理学科がどんなところなのか、気軽に質問してください。

総合
社会**盾形銅鏡(*注)キーホルダーの制作体験(数量限定)とAIによるスマホ依存判定**

総合社会学科では、情報・通信の先端技術を駆使した授業も行っています。今回はその一端をお見せします。事前に3Dプリンタで出力したものから作成したシリコン型を使って、盾形銅鏡キーホルダー作りを体験できます。作成したキーホルダーは、記念品としてお持ち帰りください。なお、材料には限りがあるため、なくなった時点で終了とさせていただきます。
(*注)富雄丸山古墳から出土した盾形銅鏡の意匠を模したもので、実際の銅鏡の意匠とは異なります。